



第107号

北海道ポーランド文化協会会誌「ポーレ」

2022.9.1

2022.10.30 (日) 豊平館で定例総会・懇親会を開催します！

本会は1987年10月に設立され、今年で35周年を迎えます。賑やかにお祝いしたいところですが、感染状況が見通せず盛大な宴会を催すわけには参りませんので、豊平館で和やかな懇親会を企画しました。ピアノ演奏をはじめ、楽しい企画を募集いたします。奮ってご参加・ご出演をお願いします。総会・懇親会のご出欠は、10月はじめに郵便・メール等でお伺いします。



中島公園内の
国指定重要文化財・豊平館

第36回 定例総会 ※本会会員向け

1F下の広間

15:30～ 総会 (1時間程度) ※入館チケットは当会が用意します。

16:30～17:00 食事 (希望者にはお弁当を用意します)

懇親会 ※どなたでもご参加いただけます。

2F 広間

17:00 開場 これ以降の入館は無料。※事前の入館・見学は¥300 自己負担

17:10 写真撮影

17:15 アトラクション

ただ今募集中！

19:30 終了

※夕食を済ませてお越しください。懇親会ではソフトドリンクのみをご用意します。フードのご用意や持ち込みは出来ません。



過去の演奏風景



ポーランド人によるコーラス

【入場無料】

定員先着50人 ※会員以外の方は↓氏名・連絡先をお知らせください
011-384-5984 (園部、Fax 共) ☒ hokkaidopolandca@gmail.com

※会場が休館となる場合は延期または中止します。

感染防止のため手指消毒・マスク着用をお願いします。

〈ポーランド・アイヌ『祖霊祭』シンヌラッパ・クンネニサツ〉プロジェクト

《第102回例会》

11.21 (月) 18:30～20:00

会場：札幌エルプラザ (北8西3) 4階大研修室

動画「アイヌとカムイのためのレクイエム」

～Requiem dla Ajnu i Kamui～鑑賞会

&お話し：丸山博(CEMiPoS 所長)

多原良子(メノコモシモシ代表)

入場無料 (詳細は10月はじめにお知らせします)

《第103回例会》

11.28 (月) 13:30～15:30

会場：かでの2・7 (北2西7) 520研修室

講演「アダム・ミツキエーヴィチ『祖霊祭』について」

講師：関口時正(東京外語大学名誉教授)

&公演『祖霊祭』 朗読：林家とんでん平

パフォーマンス：ポーランドアーティスト

アマレヤ劇団・メノコモシモシ(アイヌ女性会議)



日・ポ共同創造演劇
『DZIADY 祖霊祭』
2019-20より
©Maciej Zakrzewski



北海道ポーランド文化協会

創立 35 周年記念

定例総会&祝賀会

2022.10.30 (日)

総会 15:00 / 祝賀会 17:00

国指定重要文化財 豊平館

(中央区中島公園 1-20)

<https://www.s-hoheikan.jp>

本会は1987年10月に設立され、今年で35周年を迎えます
豊平館で総会のあと和やかな祝賀会を開催します。奮ってご参加ください

■ 第36回 定例総会 ※本会会員向け

1F 下の広間

15:00 ~ 開場

15:15 ~ 総会 (1時間程度)

16:15 ~ 17:00 食事@喫茶室 (お弁当をご用意します。お持ち帰りもできます)

■ 祝賀会 ※どなたでもご参加いただけます

2F 広間

17:00 開場 [入館無料]

17:10 写真撮影 (みなさんご参加ください)

17:15 ~ 祝賀会

① 会長挨拶+祝辞 「シロンスク舞踊団」ほか <https://youtu.be/meBXMwIKT9U>

+新会員紹介 池田光良、越野誠、先川信一郎、鈴木飛鳥、丸山博、菊池竜太

② なつかしい映像 (スライド) で振り返る本会の35年 (解説)

小笠原正明、ラファウ・ジェブカ

<http://hokkaido-poland.com/events/35AnniversarySlideshow.pdf>

③ 〈ポーランド・アイヌ『祖霊祭』シンヌラッパ・クンネニサツ〉プロジェクト (動画とお話) 丸山博 <https://youtu.be/8gTVK9kpG80>

④ 第14回グディニヤ NNW 国際映画祭 (スライドとお話) 浅野由美子

⑤ 創立35周年記念演奏会に向けて (ピアノ) 安藤むつみ/オギンスキ作曲
ポロネーズ「さらば祖国よ」Op.10-13、徳田貴子/パデレフスキ作曲メ
ヌエット op.14-1、坂田朋優&鈴木飛鳥/モシュコフスキ作曲ポロネーズ
op.55-3

⑥ ポーランドのみなさんによるお楽しみアトラクション

詩: 佐藤レミリア Remiria Sato/ヤン・ブジェフハ「変なアヒル」Jan Brzechwa "Kaczka dziwaczka"

詩: オレーヤージュ・シルヴィア Sylwia Olejarz/ハリナ・ポシファトフスカ「多くの簡単な単語が必要」

Halina Poświatowska "Trzeba nam dużo prostych słów"

パズルクイズ: ポーランドの街、日本の街

歌: 数井バルバラ Barbara Kazui/バリウス・マヌクス「夜の歌」Varius Manx "Piosenka Księżycowa"

皆で歌う: リシャルド・リンコフスキ「電車が走っている」Ryszard Rynkowski "Zwierzzenia Ryśka
Czyli Jedzie Pociąg"

パフォーマンス (居合の技)

フバチ・ロベルト Robert Hubacz



2018年の演奏風景



ポーランド人によるコーラス

17:00~参加の方は夕食を済ませてお越しください
感染防止のため手指消毒・マスク着用をお願いします

豊平館で創立 35 周年を祝いました！



2022.10.30 《第36回定例総会》(出席者20人・委任状49通/会員数99人)では、各議案が過半数の賛成で議決されました。詳細は10～11頁をご覧ください。

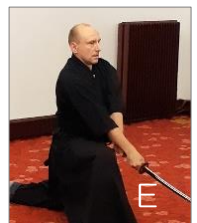
《創立35周年祝賀会》には44人(うちポーランド人・家族20人)が参加しアトラクションを楽しみました。シロンスク舞踊団から祝辞を頂きました。

▶スライドショー「本会の35年」(小笠原正明、ジェプカ・ラファウ)、「NNW 国際映画祭 @グディニヤ」(浅野由美子)

- ▶イベント紹介「ポーランド・アイヌ『祖霊祭』夜明け前/シンストラッパ・クンネニサツ」2022.11.28(丸山博)
- 「創立35周年記念演奏会」2023.6.3(ピアノ演奏:安藤むつみ、坂田朋優・鈴木飛鳥 =写真 A=、徳田貴子)

———— ポーランドのみなさんのパフォーマンスにも拍手！があふれて ————

- ▶歌(ソロ)数井バルバラ:ヴァリウス・マヌクス「夜の歌」 Varius Manx “Piosenka Księżycowa”, (皆で)リシャルド・リンコフスキ「電車が走っている」 Ryszard Rynkowski “Zwierzenia Ryśka Czyli Jedzie Pociąg” =写真 B&C=
- ▶詩(朗読)佐藤レミリア:ヤン・ブジェフファ「変なアヒル」Jan Brzechwa “Kaczka dziwaczka”, オレーヤージュ・シルヴィア:ハリナ・ポシフヤトフスカ「多くの簡単な単語が必要」 Halina Poświatowska “Trzeba nam dużo prostych słów” =写真 D=
- ▶パフォーマンス:フバチ・ロベルト/居合の技 =写真 E=
- ▶パズル・クイズ:ポーランドの街・日本の街など (安藤厚、写真 尾形芳秀)



木村和保(Kazuyasu Kimura-Piłsudski)氏逝去

かねてより白血病と格闘中だった木村和保氏は2022年12月14日夕刻、合併症のクモ膜下出血により急逝された。享年68。和保氏が代表取締役を務めたケーシーエンジニアリング社と木村家の合同葬(19日通夜、20日葬儀)は、新横浜総合斎場にてしめやかに執行され、パヴェウ・ミレフスキ駐日ポーランド共和国大使、ウルシュラ・オスミツカ・ポーランド広報文化センター所長、田澤守エンチウ協会々長、安藤厚本会々長からも弔電が寄せられた。

ブロニスワフ・ピウスツキの孫である和保氏は1980年代以降、日本におけるピウスツキ家の当主として国内外で取材に応じ、4度の B・ピウスツキ国際会議でもその重責を全うされた。99年からはブロニスワフの実弟ユゼフ・ピウスツキ元帥の孫たちと親戚付合いを開始、家族ぐるみの交流を重ねていた。和保氏はピウスツキ家全体で最後の男系嗣

子だったから、ポーランドでは Kazuyasu Kimura-Piłsudski と称されることもあったが、由緒正しいリトワニア系ポーランド士族のピウスツキ家はかくて終焉を迎えた。



2017年4月、和保氏は祖母(ブロニスワフの妻)チュフサンマの叔父・木村愛吉/バフンケの遺骨返還を北海道大学へ要求した。1936年8月、児玉作左衛門北大教授はバフンケの墓を暴き、遺骨を同大医学部に私蔵していたからだ。2018年7月、北大は同遺骨の和保氏への返還を決定するも、詰めの折衝が断続する間にコロナ禍が出来、折衝は中断されていた。和保氏は死の床で、同事業の未完を痛悔やんだに相違ない。

(井上紘一、北大名誉教授、会員、遺影 木村家提供)